発言No. 11

受付No. 11
令和６年８月２２日
9 時28分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 １６ 番　　氏名 芦 谷 英 夫

答弁を求める者（○をつける）　(市長) (教育長) 監査委員　選挙管理委員会委員長　農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

発言項目及び要旨

１、浜田市合併２０年を迎えての総括について

① ５市町村が合併して２０年を迎えるが、市勢をみるとして人口目標に対する状況、地域経済の状況から市内総生産額はどのようになっているか伺う。

② 総括的な評価はどうか伺う。

③ 市関係団体も含めた合併周年記念事業の開催などは、どのように考えているのか伺う。

２、人口定住施策の構築について

① 令和５年３月定例会議で三隅火力発電所に単身赴任が多く、家族ともども定住ができないかと質問し、「地元定住は重要であり、会社側と情報交換し定住につながるよう周知、ＰＲする」と答弁されているが、その後の状況はどのようになったのか、成果は上がったのか伺う。

② あさひ社会復帰促進センターで働く単身赴任者などの定住状況はどのようになっているのか伺う。

３、行政施策推進を評価検証する体制について

① 事務報告書に実施した事業の状況に加え、それがどのような効果があったのか、目的のとおり成果が上がったのか、課題や問題点はどのようなことか、など行政評価を加えることで、事務事業の進行管理に効果があると思うが、それをやる考えはないのか伺う。

４、国民スポーツ大会に向けた推進体制について

① 浜田市では６つの競技種目が行われるが、今年、中央競技団体の視察も行われ、競技場など施設状況への指摘はどのようなものがあったか伺う。

② これからの整備計画はどのように考えているのか伺う。

③ 大会や競技役員の確保に向けた競技団体の育成と強化など、その準備状況をこれからどう進めていくのか考えを伺う。

５、日本遺産認定その後の観光振興について

① 北前船寄港地・船主集落外ノ浦が認定されているが、観光地としての情報の発信、駐車場、案内板、トイレなど整備をする必要があるが、現状はどのようになって

いるのか伺う。

② 日本遺産の認定見直しがされているが、北前船寄港地・船主集落外ノ浦、石見地域で伝承される神楽について、文化庁の認定評価基準などから、観光資源としてどのような現状にあると認識しているのか伺う。

６、中山間地域の振興について

① 中山間地域直接支払、多面的機能支払交付金などを実施して、中山間地域の保全、遊休農地の適正な管理、集落の維持、生活環境の維持向上などに具体的にどうつがっているのか伺う。

② これらの事業について協働のまちづくりと位置づけ、まちづくり推進委員会と一緒にやっているのか、その推進体制、役員体制はどのようになっているのか伺う。

７、市道の草刈りなど管理体制について

① 市道のうち、草刈りなど市が行っているのは市道全体のうち何キロで、自治会町内会などが草刈りなど管理しているのは何キロあるのか伺う。

② 自治会や町内会へ共同作業をお願いすることと、より地域が作業しやすくなるよう、予算措置など市の支援体制を拡充する必要があるのではないかと考えるが市の考えを伺う。

発言No. 12

受付No. 4
令和6年8月20日
14時39分　受付

一般質問発言通告書

議席番号　10番　　氏名　串﨑　利行

答弁を求める者（○をつける）
[市長]　教育長　監査委員　選挙管理委員会委員長
農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1　農業の振興について

(1)　中山間地域等直接支払制度について

① 中山間地の維持に成果を上げる同制度の交付金を得るには、地域・集落農家の皆さんが5年間、営農を続ける前提で協定を結ぶ必要がある。制度は2000年度から始まっているが市の状況を伺う。

② 来年度、第6期対策の協定が始まるが、全国的にも高齢化と人材不足で、取り組めない農家が増えれば耕作放棄地等も増え農業の衰退になる。第6期対策、移行時取り扱いは地域によって違うと感じるが、地域別の対策について考えを伺う。

(2) 生ごみの堆肥化について

① 温暖化が進む中で、暮らし方を変えることで温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出を実質ゼロに抑えることができる。重要なのが生ごみの活用と、食品ロス削減であり、燃やせばコストも環境への負担もかかる。農業肥料高騰化の中、市を挙げて堆肥化を推進すれば農業負担軽減にもつながるが、市の考えを伺う。

(3)　改正食品衛生法の施行について

① 改正食品衛生法が6月から完全施行され、漬物の製造販売には、保健所による営業許可が必要となった。改正法に合わせて設備を整えるには、小規模な農家にとって負担が重く、製造を断念するケースもあると感じているが、市の状況を伺う。

② 地域の漬物を絶やさぬための対策について、市の考えを伺う。

2　危険木・支障木緊急除去事業について

① 危険木・支障木緊急除去事業については、平成 28 年から開始され地域からも非常にありがたい事業との声を聞いている。中山間地域においては、道路管理を行う上でも重要な事業と考えるが、各地域における執行状況を伺う。

② 危険木・支障木緊急除去事業の効果と課題を、市としてどのように評価しているかを伺う。

③ 現在、中山間地域振興枠でこの事業は実施されており、令和 7 年度で中山間地域振興枠も区切りの 5 年間を終えることになるが、令和 7 年度末の残高見込みを伺う。

④ 令和 8 年度以降の中山間地域振興枠の取り扱いについて伺う。

3　認知症行方不明者について

① 認知症やその疑いがあり、2023 年に全国の警察に届け出があった行方不明者が延べ 10,932 人に上がり前年から 330 人増え、12 年の統計開始以来、11 年連続で最多更新となったと報道があった。浜田市の認知症による行方不明者の状況を伺う。

② 浜田市は高齢化率も高く、今後認知症の方が増えると感じており、認知症早期発見体制が大事である。体制整備について市の考えを伺う。

発言No. 13

受付No. 16

令和6年8月22日

10時 17分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 14 番　　氏名 布施 賢司

答弁を求める者（○をつける）　(市長) (教育長) 監査委員　選挙管理委員会委員長　農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1　石見神楽を創り出したまち浜田について

（1）石見神楽伝承内容検討専門委員会の中間報告について

5月24日に設置した石見神楽伝承内容検討専門委員会は、第2回、第3回と学識経験者、神楽団体、神楽産業、情報発信関係や教育関係者14名で、テーマ「何を保存・伝承すべきか」をグループワーク形式で検討されてきた。これから意見集約され10月30日には提言書の最終調整をして、市長・教育長に提言書を提出するとなっている。一方、石見神楽振興議員連盟には検討専門委員会の報告や意見交換会が行われてきた。これまで検討専門委員会を傍聴し、関係者から出た意見を踏まえ深掘りするため何点か質問する。

①「夜明かし舞」の復活について伺う。今や各神社、各会場で舞う石見神楽は受けの良い演目だけをピックアップして、時間内に納める演舞が多いと感じる。それはそれとして認めるが、多くの演目を舞うことができる「夜明かし舞」の復活は、儀式舞（全演目に通じる基本動作）もできる環境となり、奉納神楽文化を伝承する上で大事な取組みであると私は思っている。市全体や各神社など「夜明かし舞」ができる環境をつくっていくべきだと思うが、所見を伺う。

②石見神楽の花を打つ（ご祝儀）文化の取組について伺う。花を打つ文化は、神楽団体やお宮が維持するために使うものであり神楽の御花は特別なものであると思う。市長は花を打つ文化をどう捉えているのか伺う。

③神楽社中の後継者問題と地区まちづくりに通じる取組について伺う。後継者不足は大きな問題で子供神楽の指導はしておられるが、後継者育成に追いついていない実情があると伺った。そんな中、上府町のまちづくり委員会では後継者不足も含め町内で上府神楽社中を盛り上げ、地域力を上げる一石二鳥の取組をしているとお聞きするが、この取組について関係部署の所見を伺う。

④思わず買いたくなるお土産品について伺う。石見神楽を創り出したまち浜田としては、神楽関係のお土産品が依然として少ない。特に、どじょう掬い饅頭や因幡の白ウサギに代表されるような見た目でインパクトがある形状は、山陰各地でもかなり売れているお土産品だと思う。夢グループのように、売れるものをまねして売るのも商売であるので、鍾馗や鬼の面など形状はインパクトがあり恰好の土産品になると思うので是非とも商品化すべきである。関係機関に働きかけていくべきだと思うが所見を伺う。

⑤浜田ふるさと祭唄について伺う。浜田市のPR大使、浜田市出身の山崎ていじさんが浜田のために特別に作っていただいた「浜田ふるさと祭唄」があるが、リリースされて以来、観光施設やイベント会場でほとんど流されていない。1番（はまっ子春祭り）2番（ツツジ花祭り）3番（漁港・日本海）で4番は（石見神楽は日本一）。絶好のPRソングであるが、なぜ多くの場所で流さないのか、流されていないのか残念でならない。市長の所見を伺う。

2　介護人材の確保対策について

介護人材の確保は市内の事業所も大変苦慮されていると聞いている。人材確保は人数だけではなくて若い人が少なく、高齢化が進んでいる状況ではないだろうか。
関係者に聞くと入所系の介護職員の配置基準は今のところまだまだまかなえると聞いているが、パートなど高齢者を雇って何とかやりくりをしているのが現状である。
介護職は仕事の割には賃金も低いし待遇も良くなく、募集しても人が集まらない状況が依然として続いており、このままでは安定した介護等福祉サービスの提供ができなくなる恐れがある。

（1）エッセンシャルワーカーの育成支援について

①行政の福祉人材確保は極めて重要であると感じているが、本市が行うべき福祉人材育成・確保について伺う。

（2）特定技能制度を使った外国人介護職員の受入れについて

①これからは介護施設や障害者施設など、特定技能制度を使って外国人人材を積極的に雇用するよう舵をきっていかないと、浜田の介護施設がやれなくなると現場サイドは危機感を持っている。行政側は現場の状況をきちんと把握するために現場の声を聞く場を設けているのか伺う。

（3）人材確保に対する補助制度（日本人・外国人）について

①特に外国人介護職員を雇う場合はある程度ハードルがあると思うが、実際外国人を雇っている旭町の旭園での雇用の状況や補助制度はどうなのか伺う。

3　マイナンバーカード（マイナカード）について

日本の 5 月末時点でのマイナカード保有率は 73.8%で、保有はあくまでも任意であるとしている。政府はより一層普及させるため今後、携帯電話の契約は詐欺グループの携帯電話悪用を防ぐため契約時の本人確認にマイナカードに搭載された IC チップの読み取りを義務付けるとしている。また、保険証は 12 月 2 日で現行の保険証を廃止してマイナ保険証に切り替えるとしているが、持ってない約 3 割の人の対応など、まだいくつかの問題点があると思い質問をする。

①直近の浜田市のマイナカードの保有率と IC チップにはどのような情報がはいっているのか伺う。

②マイナカード IC チップの不正行為対策のセキュリティはどうなのか伺う。

③廃止になる紙の保険証しか持ってない人の対応を伺う。

④マイナ保険証で一元管理され、医療機関、薬局、患者本人が閲覧できる医療データーはどのような内容が入っているのか伺う。

⑤2023 年度から 2024 年度でカード普及率の高い自治体ほど地方交付税を積み増しするとしているが、浜田市は場合、全国平均より普及率は高いと報告を受けている。地方交付税の積み増しはいくらあったのか伺う。

発言No. 14

受付No. 2
令和6年8月19日
11時41分　受付

一般質問発言通告書

議席番号　１９　番　　氏名　田畑　敬二

答弁を求める者　　[市長]　教育長　監査委員　選挙管理委員会委員長
（○をつける）　　農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1.　建設業協会との意見交換を踏まえた課題について

7月22日に、浜田市の建設業者を取り巻く状況及び問題点や課題について建設業協会の代表者と意見交換を行った。代表者は、浜田地区、旭地区、金城地区、三隅地区、弥栄地区の会長である。その中での意見を基に、以下の質問をする。

① 浜田地域の代表者からは、通学路等の側溝に不具合があるところが大変多くあるという意見があった。事故が起こる前に対応すべきと考えるが、市の把握状況を伺う。

② 旭地域の代表者からは、メインの建設や土木の仕事が全くなく、県道・市道の除草しかない、このままでは従業員の雇用を検討しなければならないという意見があった。市の認識を伺う。

③ 金城地域の代表者からは、公共工事は災害復旧事業が1件あるのみで、他は除草のみだという意見があった。市の認識を伺う。

④ 三隅地域の代表者からは、市の工事だけでは経営できないことはわかっているが、仕事がないと技術の継承もできないので、市の今後の事業計画を示してもらいたいという意見があった。市の見解を伺う。

⑤ 弥栄地域の代表者からは、市や県の仕事がないという意見があった。市の認識を伺う。

⑥ 浜田市内には緊急車両が通行できない箇所が数多くあるという意見があった。各地区別に市の把握状況を伺う。

2.　協働のまちづくりの推進について

① まちづくり総合交付金制度が開始されて十数年になるが、どの程度の成果があったか伺う。

② 地区まちづくり推進委員会に自主防災組織の義務付けの考えはないか伺う。